

事務事業マネジメントシート(平成23年度実績と平成24年度計画)

平成24年 9月27日更新

事務事業名		水道量水器取替え・購入事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input checked="" type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	2	緑豊かな環境と共生するまちづくり			所属部	水道局	課長名	水野 孝春
	施策	9	住環境の充実			所属課	上下水道課	担当者名	九重 浩光
	基本事業	24	水の安定供給			所属班	庶務料金班	(内線)	1162
予算科目	会計企業	款	項	目	事業連番	法令根拠	計量法	成果優先度評価結果	: ⑫
								コスト削減優先度評価結果	: -
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 23年度で終了 <input type="checkbox"/> 23年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)					

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	計量法で8年と定められている量水器の法定交換及び不具合の発生(凍結により損壊したもののやガラス面の曇りで検針が困難なもの等)した量水器を取替える事業である。水道量水器は、計量法で、適正な計量の実施を確保することを必要とされる特定計量器と定められており、計量法施行令第18条で有効期限が8年と定められていることに対応する量水器を設置しなければならない。・市内全体の水道利用者数(給水件数)は平成14年3月の16,687件から平成19年2月には、18,538件と5年間で1,851件増加しており、これに伴い事務量も増加している。また23年3月では、19,798件に増加している。平成24年度からは料金徴収業務等の包括的民間委託に含めて取替作業や取替通知の発送等も委託する。
【業務の流れ】	①8年経過量水器を改造し使用可能にする。(業務委託) ②不足する量水器は購入する。
【主な予算費目】	事業費は改造にかかる委託料、通信運搬費(郵送料)、購入にかかる備消耗品費に支出される。
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
①手段(主な活動)23年度実績(23年度に行った主な活動)(DO)	24年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
有効期限満了量水器(8年経過)の取替え、不具合の発生した量水器の取替えを実施。	8年経過量水器の改造。不足する量水器の購入。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア:取替え対象量水器数	個 料金業務の民間委託に伴い、量水器の取替えも委託するため
→ イ:購入量水器数	個
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
水道量水器	(単位)
	→ ア:取替え対象量水器数
	→ イ:新規払い出し量水器数
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
使用中の給水装置に、適正な量水器を設置する。	(単位)
	→ ア:取替済量水器数/取替対象量水器数
	→ イ:新規払い出し量水器数/新規給水申込数
*③成果指標設定の理由と24年度目標値設定の根拠	
水道料金の徴収は法的な要件を満たす量水器により検針しなければならないため、既設、新規とも100%とした。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2)各指標・総事業費の推移		単位	21年度 実績(決算)	22年度 実績(決算)	23年度 目標(当初予算)	23年度 実績(決算)	24年度 目標(当初予算)	25年度 予定	26年度 見込	27年度 見込	
①活動指標	ア	個	0	2,301	2,400	2,228	1,575	2,179	3,243	2,120	
	イ	個	0	202	1,637	802	1,401	400	400	400	
②対象指標	ア	個	3,635	2,301	2,400	2,228	1,575	2,179	3,243	2,120	
	イ	個	462	552	500	0	500	500	500	500	
③成果指標	ア	%	100	100	100	100	100	100	100	100	
	イ	%	100	100	100	100	100	100	100	100	
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円	11,391	6,935	14,671	8,104	6,082	13,541	14,000	14,000
		繰入金	千円	91		101	424	77	75	75	75
	一般財源	千円									
	(A)事業費計	千円	11,482	6,935	14,772	8,528	6,159	13,616	14,075	14,075	
	(A)のうち指定経費	千円	0	21	0	0	0	0	0	0	
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	21	0	0	0	0	0	0	
人件費	正規職員従事人数	人	6	5	4	7	1	1	0	0	
	延べ業務時間	時間	460	460	460	660	115	115	0	0	
	(B)人件費計	千円	1,830	1,895	1,895	2,665	473	473	0	0	
トータルコスト(A)+(B)		千円	13,312	8,830	16,667	11,193	6,632	14,089	14,075	14,075	

事務事業名	水道量水器取替え・購入事業	所属部	水道局	所属課	上下水道課
-------	---------------	-----	-----	-----	-------

## 2 評価の部 (SEE)

\*原則は23年度の後評価、ただし複数年度事業は23年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①23年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②24年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 【前年度内容】目標を達成するため量水器の改造、購入及び取替委託を行う。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 【前年度内容】取替えが必要な量水器は全て取替えている。随時量水器の在庫状況を点検し、必要数を購入している。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 【前年度内容】水道料金決定収納事務との統合量水器管理により、上下水道料金が決定できるので、本事務を水道料金決定収納事務と統一を図ることができる。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 【前年度内容】適正に対応しており、削減により影響が出る可能性もある。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 【前年度内容】現地での取替え作業は民間委託により実施しており、削減余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 【前年度内容】全受益者に関する事務であり、公平である。
	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 【前年度内容】住民・団体が担える業務が無い。

## 3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

【前年度内容】量水器の取替え、購入については目標を達成している。身分証や事前通知はがきの内容についての要望を聞いているのでより円滑に取替えまでが完了するように改善を目指す。
--

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						